

建通新聞（2018年8月20日付3面掲載）

【オリエンタルコンサルタンツ ECI方式 奈良の橋梁保全で試行 全国自治体では初】

オリエンタルコンサルタンツ

## ECI方式 奈良の橋梁保全で試行 全国自治体では初

クに着目。特に橋梁保全事業で共通の課題となっている▽早期に補修対策を要する橋梁の保全事業の遅れ▽施工時の品質低下▽事業費の増加▽発注者負担の増加―などに対する解決策として、新しいECI方式の採用を同町に提案。同町が管理する3橋を対象とした試行業務を16年度に実施して

いた。同社と同町はこの試行を通して、▽設計▽施工完了までの事業期間の短縮▽施工段階における設計者の設計意図伝達とCM的役割による品質向上▽設計時からの足場共有によるコスト縮減▽三者協議会における迅速な対応・意思決定による職員の負担軽減―などの効果を確認。

その上で、同町が設置した検討会（委員長、山口隆司・大阪市立大学大学院工学研究科教授）の議論をサポートし、この試行結果を踏まえたECI方式導入のガイドラインの策定につなげた。同社は、このガイドラインに基づいた試行を継続的に支援することでECI方式導入の在り方を確立し、全国の自治体と同方式の導入を提案していきたい、と話している。

オリエンタルコンサルタンツ（野崎秀則代表取締役社長）は、奈良県田原本町が管理する道路橋に対してECI（アーリー・コンストラクト・インボルブメント）方式による試行業務を実施し、その内容をまとめたガイドライン策定につなげた。官民連携による業務成果を発表した。橋梁保全での同方式の採用は全国の自治体では初めて。同社は自治体が管理している膨大な道路ストッ